

第2章 本道の地域特性

本道の地域特性について、「地理的特性」、「経済・産業的特性」、「社会的特性」の3つの観点から取りまとめると、次のとおりとなります。

1 地理的特性

〈地勢〉

- 日本列島の最北（北緯41度21分～45度33分）に位置し、面積は83,424 km²（平成28年10月1日現在）で、国土の22.1%を占めています。
- 山地が全体のほぼ半分を占めていますが、全国と比較すると山地や傾斜地が少なく、なだらかな土地が多いのが特徴です。
- 河川は、321水系、2,025河川、延長約15,400kmの河川（平成31年3月現在、河川法河川及び準用河川）のほか、それ以外の普通河川も14,600程度あり、概ね良好な水質を維持しています。
- 周囲は、太平洋、日本海、オホーツク海に囲まれ、対馬海流とリマン海流、日本海流と千島海流がそれぞれ交差しているため、世界有数の漁場となっています。

〈自然・気候〉

- 四季の変化がはっきりしており、独自の自然と文化を持っています。
- 自然に恵まれ、6つの国立公園と5つの国定公園、12の道立自然公園があり、その総面積は約8,700 km²で、本道全体の約1割を占めます。
- 年平均気温は6～10℃程度、年平均降水量は700～1,700 mm程度で、冷涼低湿な気候ですが、地域によってかなり違いがあります。

2 経済・産業的特性

〈経済・産業構造〉

- 道内総生産の産業別構成比は、第1次産業が4.3%、第2次産業が17.4%、第3次産業が78.3%で、全国と比べ第1次産業と第3次産業が高くなっています。

本道の地勢や冷涼な気候、3つの特性ある海が、第1次産業である農業・林業・水産業を育て、その各産業から生まれる良質な食資源が、国内外からの多くの観光客を本道に誘引しています。さらには、様々な自然公園等に生息する動植物、厳しい冬の町並みを覆う雪景色、良質なパウダースノーを活かしたスキーリゾート、道東に現れる流氷など、国内でも本道でしか体験できない貴重な自然の素材が多くの観光客を魅了するなど、サービス業を含む第3次産業をも育てています。

産業構造の近年の構成は次のとおりです。

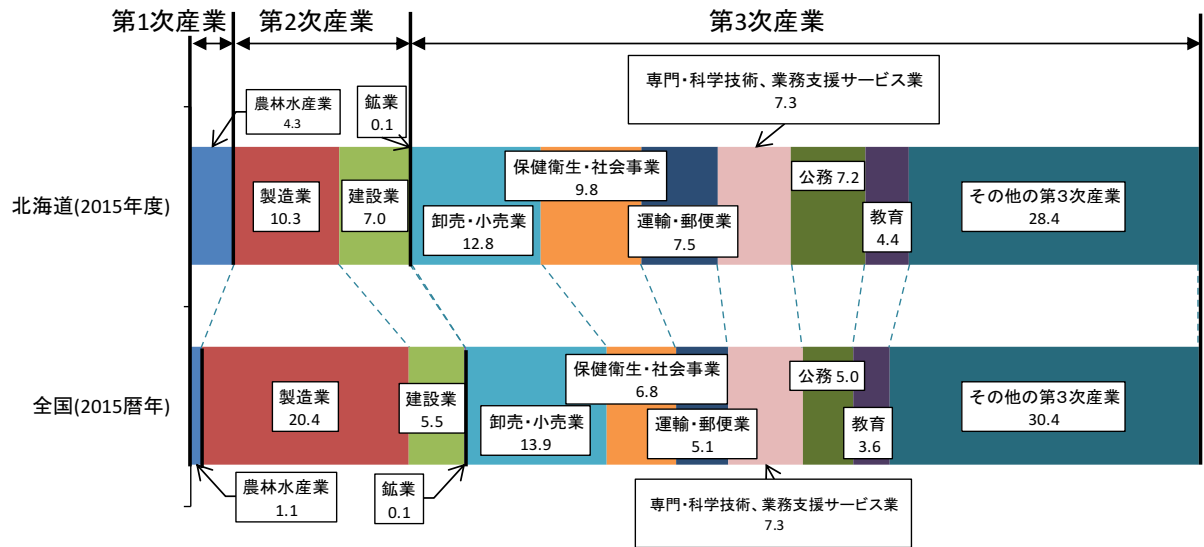


図 2-1 道内総生産の産業別構成比

注：輸入品に課される税・関税等を除いているため、構成比の合計は 100% とならない

資料：「平成 27 年度道民経済計算確報」（北海道経済部）、「平成 27 年度国民経済計算年度」（内閣府）

〈農業〉

- 平成 30 年の耕地面積は約 115 万 ha で、全国の 1/4 を占めています。
- 主業農家率は 72.9% と他の都府県の 20.0% を大きく上回り、専門的な農家が大規模で生産性の高い土地利用型農業を展開しています。
- 平成 29 年の農業産出額は 1 兆 2,762 億円と全国の約 14% を占めるほか、多くの農畜産物が全国第 1 位の生産量となっています。

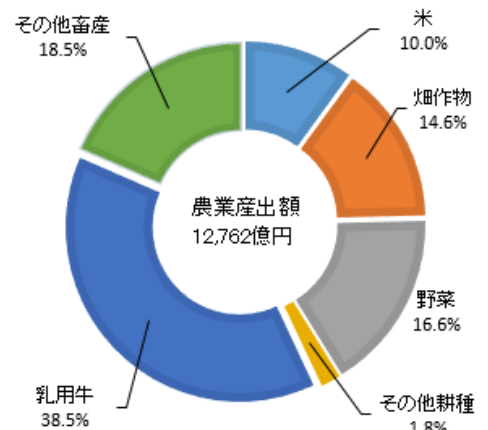


図 2-2 農業産出額

農林水産省「平成 29 年度生産農業所得統計」

〈林業〉

- 森林面積は約 554 万 ha（平成 30 年 4 月現在）で、道内の土地面積（北方領土を除く）の 71%、全国の森林面積の 22% を占めています。
- 林種別では、天然林が 68.6% と最も多く、次いで人工林 26.8%、無立木地・その他 4.6% となっており、天然林の多さが特徴です。
- 平成 29 年度の木材供給量は、道産材が 460 万 m³、輸入材が 308 万 m³ となっており、道産材自給率は 59.9% となっています。

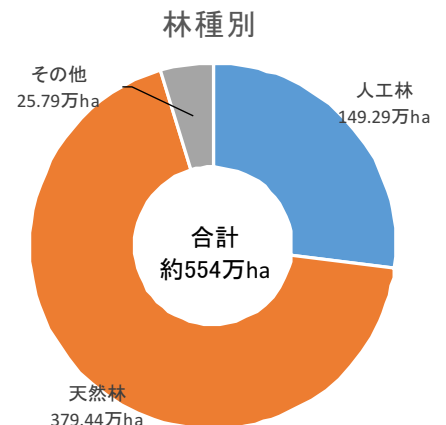


図 2-3 森林面積

北海道水産林務部「平成 29 年度北海道林業統計」

〈水産業〉

- 平成 29 年の海面漁業・養殖業の生産量は 91 万 t、2,785 億円で、都道府県別で第 1 位の生産規模となっており、魚種別では、ホタテガイやスケトウダラなどが都道府県別で第 1 位の生産となっています。
- 水産加工業における出荷額は、7,405 億円で、全国の 21.1%を占めており、漁業生産と合わせて水産業は本道の基幹産業の一つとなっています。

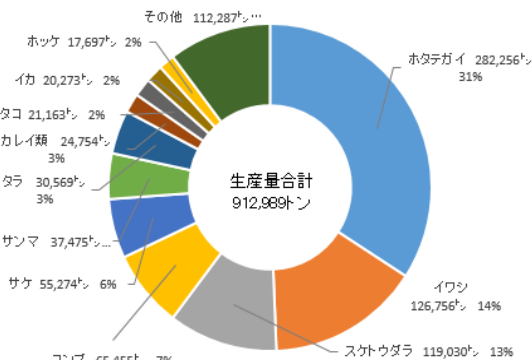


図 2-4 海面漁業・養殖業の生産量
北海道水産林務部「平成 29 年北海道水産現勢」
(生体重量)

〈観光〉

- 平成 29 年度の観光入込客数（実人数）は 5,610 万人、訪日外国人来道者数は 279 万人となっています。
- 道民、道外客、外国人来道者による総観光消費額は年間約 1 兆 4,300 億円にのぼり、生産誘発額は約 2 兆 900 億円と推計されます。

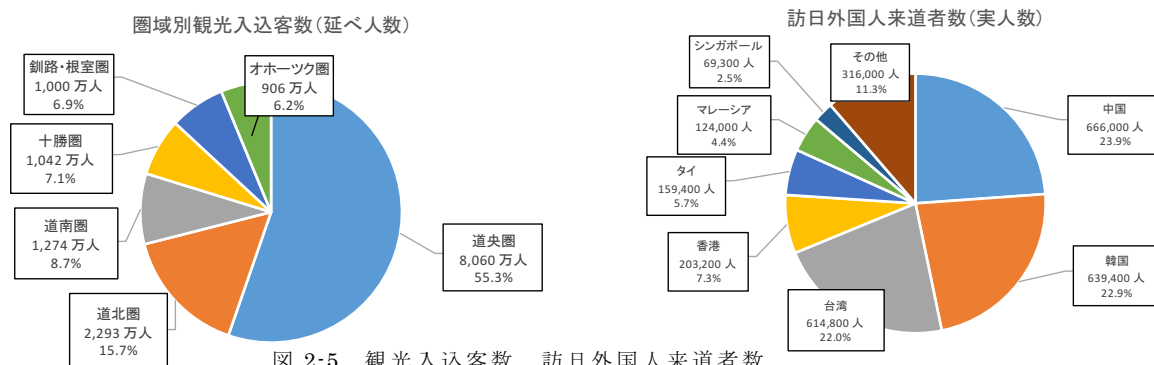


図 2-5 観光入込客数、訪日外国人来道者数
北海道経済部「北海道観光入込客数調査 [平成 29 年度]」

3 社会的特性

〈生活・健康〉

- 本道は、他の都府県に比べ、広大な土地に人口や産業拠点、主要観光地などが分散し、各地域の主要都市間の距離が長いことが大きな特徴となっています。道民の日常生活を支えるとともに、本道の産業や観光の振興、さらには災害時における円滑な復旧活動の推進などに向け、道路網の整備など交通ネットワークの形成・充実が進められています。
- 農山漁村などの集落が 3,600 を超えており、高齢者の割合が人口の 50%を超える集落が 900 以上あります。
- 道内の水道普及率は 97.9%（平成 28 年度）で、全国水準（97.9%）に達しており、近年はほぼ横ばいで推移しています。
- 下水道処理人口普及率は 91.0%（平成 29 年度末現在）となっており、全国で第 6 位となっています。

